



平成27年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハニーズ

コード番号 2792

URL <http://www.honeys.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江尻 義久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 西名 孝 (TEL) 0246-29-1111

四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日 配当支払開始予定日 平成27年1月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第2四半期の連結業績(平成26年6月1日~平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第2四半期	28,787	3.3	752	42.4	2,816	137.9	1,469	238.0
26年5月期第2四半期	29,777	0.9	1,306	44.3	1,184	49.9	434	65.7

(注) 包括利益 27年5月期第2四半期 2,401百万円(400.3%) 26年5月期第2四半期 479百万円(70.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第2四半期	52.71	
26年5月期第2四半期	15.58	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年5月期第2四半期	41,145	32,418	78.8	1,162.89
26年5月期	36,826	30,004	81.5	1,075.98

(参考) 自己資本 27年5月期第2四半期 32,418百万円 26年5月期 30,004百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期		10.00		10.00	20.00
27年5月期		10.00			
27年5月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日~平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,200	3.1	1,500	35.2	2,700	26.3	1,000	79.7	35.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 社(社名) 、 除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年5月期2Q	27,900,000株	26年5月期	27,900,000株
27年5月期2Q	22,242株	26年5月期	14,072株
27年5月期2Q	27,880,872株	26年5月期2Q	27,899,928株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税や円安による輸入物価の上昇などにより個人消費や住宅投資が冷え込み、2四半期連続のマイナス成長となりました。

当社グループが属するレディースカジュアル専門店業界は、実質賃金の低下に伴う消費の低迷に加え、急激な円安による仕入コストの上昇により、極めて厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、各ブランドのターゲットを再設定し、ブランドコンセプトを明確にすることにより幅広い客層に対応した商品構成と売場の実現を目指してまいりました。また、ファッション雑誌とのコラボレーション企画、自社運営の通販サイトと実店舗の連動販促企画、その他各種キャンペーン等、さまざまな販促活動に取り組み、販売力の強化を推し進めてまいりました。

また、仕入コストの上昇に対応するため、ミャンマー自社工場における生産増強を含め、生産国のアセアンシフトをより一層進めてまいりました。

店舗展開に関しましては、引き続きスクラップアンドビルドを進めた結果、当第2四半期連結会計期間末における国内店舗数は853店舗となりました。

中国子会社である好麗姿(上海)服飾商貿有限公司(注)におきましては、不採算店舗の退店を進めた結果、当第2四半期連結会計期間末における直営店舗数は538店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は287億87百万円(前年同期比3.3%減)、営業利益は7億52百万円(前年同期比42.4%減)、経常利益は28億16百万円(前年同期比137.9%増)、四半期純利益は14億69百万円(前年同期比238.0%増)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<日本>

日本における売上高は225億07百万円(前年同期比6.5%減)、営業利益は6億79百万円(前年同期比49.1%減)となりました。個人消費の冷え込み等により、既存店売上高が前年を割り込み、減益となりました。

<中国>

中国における売上高は62億79百万円(前年同期比10.0%増)、営業利益は5百万円(前年同期は営業損失68百万円)となりました。店舗運営力の強化等により、客数が回復し売上高が増加したためです。

<その他>

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ミャンマー現地法人の事業活動を含んでおります。当第2四半期連結累計期間における営業利益は10百万円(前年同期は営業損失42百万円)となりました。

(注)好麗姿(上海)服飾商貿有限公司の社名は中国語簡体字を含んでいるため、日本語常用漢字で代用してあります。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて43億19百万円増加して411億45百万円となりました。これは、たな卸資産が増加したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて19億05百万円増加して87億26百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金、未払法人税等が増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて24億13百万円増加して324億18百万円となりました。これは、繰延ヘッジ損益が増加したこと等によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、日本においては、消費税増税等による節約志向の影響などから、景気の先行きに対する不透明感が強く、中国においても客数が回復し増収に転じたものの、収益の本格回復は来期以降と思われることから、平成26年7月8日の決算公表時に発表いたしました平成27年5月期通期業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日別途開示します「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が464,636千円減少し、利益剰余金が300,155千円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,839,377	5,168,335
売掛金	4,184,448	4,440,438
たな卸資産	7,694,827	9,446,645
未収還付法人税等	56,114	59,792
その他	756,458	3,664,613
貸倒引当金	1,480	887
流動資産合計	18,529,745	22,778,938
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,428,939	6,245,613
その他	3,105,110	3,376,812
有形固定資産合計	9,534,049	9,622,425
無形固定資産		
その他	212,408	359,938
無形固定資産合計	212,408	359,938
投資その他の資産		
差入保証金	7,637,995	7,624,580
その他	936,683	779,908
貸倒引当金	24,663	20,541
投資その他の資産合計	8,550,015	8,383,947
固定資産合計	18,296,473	18,366,311
資産合計	36,826,219	41,145,250
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,139,941	2,332,233
短期借入金	216,970	213,360
未払法人税等	192,706	688,053
ポイント引当金	3,805	2,808
資産除去債務	8,142	18,164
その他	3,071,818	3,708,062
流動負債合計	4,633,384	6,962,682
固定負債		
退職給付に係る負債	1,374,967	952,485
資産除去債務	807,026	808,661
その他	5,941	2,596
固定負債合計	2,187,934	1,763,743
負債合計	6,821,319	8,726,426

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,566,800	3,566,800
資本剰余金	3,941,880	3,941,880
利益剰余金	21,827,648	23,318,677
自己株式	13,902	22,300
株主資本合計	29,322,426	30,805,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,117	7,768
繰延ヘッジ損益	54,254	720,051
為替換算調整勘定	739,969	891,395
退職給付に係る調整累計額	9,357	5,448
その他の包括利益累計額合計	682,474	1,613,766
純資産合計	30,004,900	32,418,824
負債純資産合計	36,826,219	41,145,250

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
売上高	29,777,083	28,787,593
売上原価	12,323,116	11,876,074
売上総利益	17,453,967	16,911,519
販売費及び一般管理費	16,147,781	16,159,206
営業利益	1,306,185	752,312
営業外収益		
受取利息	1,885	1,264
受取配当金	239	279
為替差益	83,153	172,916
受取地代家賃	17,156	17,976
受取補償金	17,463	
デリバティブ評価益		1,805,531
補助金収入	43,366	65,130
貸倒引当金戻入額	5,829	4,714
雑収入	17,554	16,636
営業外収益合計	186,648	2,084,449
営業外費用		
支払利息	11,488	10,810
デリバティブ評価損	291,916	
雑損失	5,285	9,396
営業外費用合計	308,690	20,207
経常利益	1,184,144	2,816,554
特別利益		
受取損害賠償金	3,032	3,032
補助金収入	33,790	
特別利益合計	36,822	3,032
特別損失		
固定資産除却損	150,352	190,453
減損損失	27,042	68,104
その他	7,973	460
特別損失合計	185,368	259,017
税金等調整前四半期純利益	1,035,597	2,560,568
法人税、住民税及び事業税	543,924	611,703
法人税等調整額	56,808	479,132
法人税等合計	600,732	1,090,835
少数株主損益調整前四半期純利益	434,865	1,469,733
四半期純利益	434,865	1,469,733



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	434,865	1,469,733
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,234	1,651
繰延ヘッジ損益	56,408	774,306
為替換算調整勘定	100,203	151,426
退職給付に係る調整額		3,909
その他の包括利益合計	45,029	931,292
四半期包括利益	479,895	2,401,025
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	479,895	2,401,025
少数株主に係る四半期包括利益		

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,035,597	2,560,568
減価償却費	715,166	698,106
減損損失	27,042	68,104
デリバティブ評価損益(は益)	291,916	1,805,531
退職給付引当金の増減額(は減少)	69,204	
退職給付に係る負債の増減額(は減少)		44,297
貸倒引当金の増減額(は減少)	5,058	4,714
ポイント引当金の増減額(は減少)	57	996
受取利息及び受取配当金	2,125	1,543
支払利息	11,488	10,810
受取損害賠償金	3,032	3,032
固定資産除却損	144,287	183,474
売上債権の増減額(は増加)	396,102	165,278
たな卸資産の増減額(は増加)	1,546,092	1,598,209
仕入債務の増減額(は減少)	349,523	1,095,787
未払金の増減額(は減少)	45,139	137,521
未払費用の増減額(は減少)	81,340	136,468
未払消費税等の増減額(は減少)	35,927	55,685
その他	123,012	140,006
小計	569,134	723,532
利息及び配当金の受取額	2,125	1,543
利息の支払額	12,077	10,326
損害賠償金の受取額	3,032	3,032
法人税等の支払額	748,898	65,550
営業活動によるキャッシュ・フロー	186,684	652,231
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	694,919	923,821
無形固定資産の取得による支出	5,545	165,740
投資有価証券の取得による支出	398	404
差入保証金の差入による支出	171,012	176,048
差入保証金の回収による収入	178,773	218,538
資産除去債務の履行による支出	26,371	38,574
その他	797	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	718,676	1,086,000
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	105,219	16,700
長期借入金の返済による支出	370,400	
自己株式の取得による支出		8,177
配当金の支払額	418,498	278,859
その他	10,955	11,362
財務活動によるキャッシュ・フロー	694,634	315,099
現金及び現金同等物に係る換算差額	16,702	77,826
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,583,293	671,041
現金及び現金同等物の期首残高	7,684,698	5,839,377
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,101,405	5,168,335

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成26年11月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年11月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,069,243	5,707,840	29,777,083		29,777,083
セグメント間の内部売上高 又は振替高				89,070	89,070
計	24,069,243	5,707,840	29,777,083	89,070	29,866,153
セグメント利益	1,335,949	68,396	1,267,553	42,183	1,225,369

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ミャンマーの現地法人の事業活動を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,267,553
「その他」の区分の利益	42,183
セグメント間取引消去	80,816
四半期連結損益計算書の営業利益	1,306,185

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、割引前将来キャッシュ・フロー総額が帳簿価額に満たない店舗については、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、それぞれ20,479千円、6,563千円の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において27,042千円であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成26年11月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,507,981	6,279,612	28,787,593		28,787,593
セグメント間の内部売上高 又は振替高				171,141	171,141
計	22,507,981	6,279,612	28,787,593	171,141	28,958,735
セグメント利益	679,509	5,379	684,889	10,593	695,482

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ミャンマーの現地法人の事業活動を含んでおります。

## 2 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度末に比べて、当第2四半期連結会計期間の中国セグメントの資産の金額が1,185,618千円増加しております。その主な理由は、たな卸資産の増加665,252千円、売上増加に伴う現金及び預金の増加259,442千円、売掛金の増加257,409千円であります。

## 3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	684,889
「その他」の区分の利益	10,593
セグメント間取引消去	56,829
四半期連結損益計算書の営業利益	752,312

## 4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、割引前将来キャッシュ・フロー総額が帳簿価額に満たない店舗については、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、それぞれ30,398千円、37,705千円の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において68,104千円であります。